

茨城県守谷市の総合事業について（コミュニティバス・急行バス実証運行等）

計画事業

【現況及び課題】

- 市内の鉄道は、つくばエクスプレス線守谷駅と関東鉄道常総線守谷駅、南守谷駅、新守谷駅があり、乗換駅である。つくばエクスプレス守谷駅では、1日平均、約2万人を超える乗車人員がある。（H20年度実績）
- 路線バスは守谷駅を中心に7路線が整備され、市街地を網羅している。市内の1日あたりの乗降者数は約2,500人となっている。（H20.6現在）
- コミュニティバスは、路線バスが運行していない地域を含めて、市内全域を4ルートにわけ、それぞれ1日8便運行している。
- 市内の路線バスは、守谷駅と住宅密集地を結ぶ路線として運行されているため、交通空白地帯が生じている。
- コミュニティバスは交通空白地帯をカバーしているが、便数も少なく、利便性が低い。
- 路線バスとコミュニティバスにおいては、運賃の格差や、ルートの重複、また、その連携が取れていないなどの課題がある。

【活性化の目標・方向性】

- 路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし、連携の強化と乗り継ぎや利用しやすいルート設定、便数、駅への速達性の向上を図り、バス交通を充実させ、もって、通勤・通学、買い物、通院などへのアクセス向上による、更なる利便向上を目指し、合わせて、マイカーから公共交通への利用転換促進による環境対策としてのCO2排出量削減、高齢者の運転免許証自主返納効果も期待するものである。
- 路線バスの充実
- 路線バスとコミュニティバスの連携強化
- 路線バスとコミュニティバスの格差解消
- バス利用の促進

【実施する事業の内容】

- コミュニティバス実証運行（H21年8月～H23年度）
 - ◇ルート数：2 ◇便数：Aルート・右回21便・左回22便， Bルート・右回22便・左回22便 ◇運賃：200円
- 急行バス実証運行（H21年8月～H23年度）
 - ◇ルート数：1 ◇便数：1日20往復 ◇運賃：160～200円
- 利用促進策（H21年8月～H23年度）
 - ◇路線バスとコミバスの乗り継ぎ実証実験、企業バス活用による移動手段確保のための実証実験及びパンフレット作成（H21年8月～H23年度）
 - ◇バスマップの作成、配布及びバス乗車体験イベントの実施（H21年8月～H23年度）
 - ◇割引制度導入（高齢者割引、昼間帯割引の実証実験及びパンフレット作成（H21年8月～H23年度）
- 地域間交流バス（路線バス）の実証運行（H23年度）

茨城県守谷市：総合事業の実施区域



急行バス(H21年8月～H23年度)
 北守谷公民館⇨守谷駅西口
 ・運行時間帯: 午前6時～午後11時
 ・運行便数: 40便程度/1日
 ・運賃体系: 1乗車 160円～200円(対キロ区間制)(こども半額)
 ・運行車両: 大型1台

**急行バスの実証運行
(北守谷急行バス)**

企業バス(H21年8月～H23年度)
 病院⇨守谷駅東口
 ・運行時間帯: 午前8時～午後6時
 ・運行便数: 12往復程度/1日
 ・運行車両: 小型2台

企業バスの活用

**コミュニティバスの実証運行
Aルート**

**コミュニティバスの実証運行
Bルート**

コミュニティバス(H21年8月～H23年度)
Aルート(右回り, 左回り)
 守谷市役所⇨守谷駅⇨大野小学校⇨白寿荘⇨西板戸井地区⇨白寿荘⇨守谷市役所
Bルート(右回り, 左回り)
 守谷市役所⇨大柏地区⇨高野地区⇨乙子立体交差(通過)⇨南守谷駅⇨国道294号⇨守谷駅⇨守谷市役所
 ・運行時間帯: 午前7時～午後8時(一部午後9時まで)
 ・運行便数: Aルート: 43便/1日 Bルート: 44便/1日
 ・運賃体系: 1乗車: 200円(こども半額) 1日券: 400円()
 ・運行車両: 中型2台, 小型4台